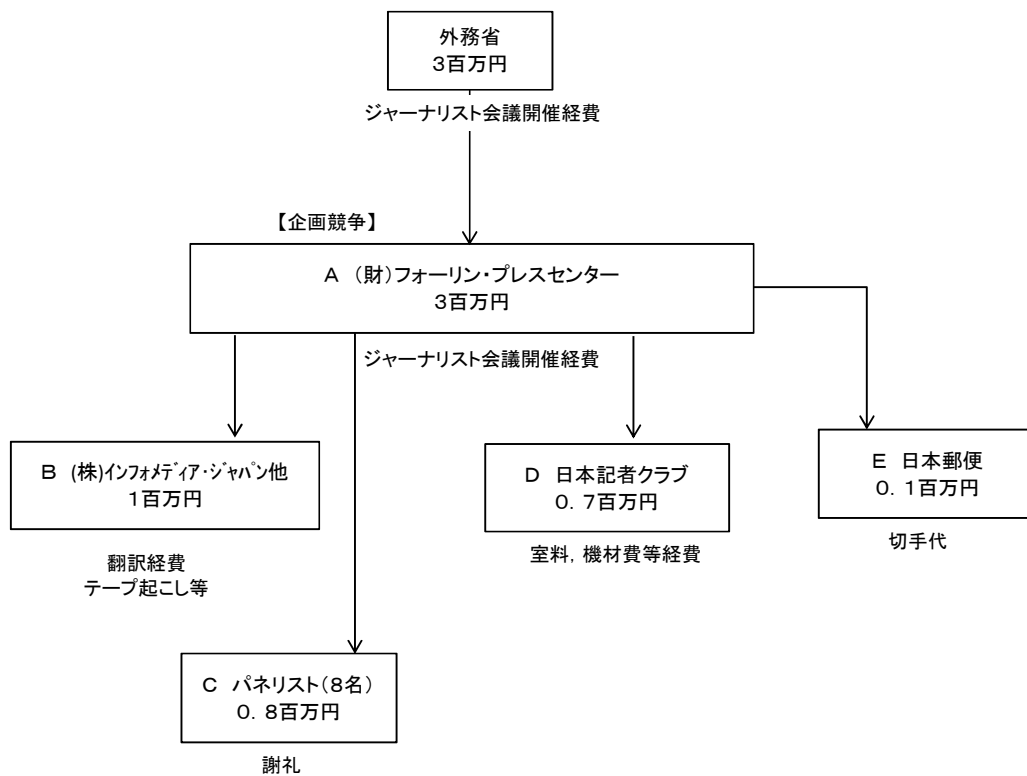


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	ジャーナリスト会議開催経費	担当部局庁	外務報道官組織	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度開始	担当課室	国際報道官室	佐藤国際報道官				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅲ－2 報道対策, 国内広報, IT広報					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第15項	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・日本、地域及び世界にとっての重要外交課題に係る日本の政策について広く国内外に発信しながら、当該課題に対する国際世論を喚起し、参加者間の相互理解を深める。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・日本・地域及び世界にとっての重要外交課題に関連するテーマを検討し、論説委員等高いレベルの知見を有する国内外の報道機関関係者が、各国の報道傾向や自国政府の立場等も踏まえつつ、公開形式で議論を行う会議を開催する。政策発信効果を高めるため、外務省の政策責任者等による基調講演等を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	4	4	4	0	—	
	執行額		3	4	3			
	執行率(%)		66.0	79.7	76.9			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	・関連報道件数	成果実績	件	3	2	2	2	
		達成度	%	150	100	100		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	・会議への一般参加者数	活動実績 (当初見込み)	人	100	120	160	—	
					(110)	(0)		
単位当たりコスト	(3,153千円／回)		算出根拠	・9,460千円(20-22年度経費総額)÷3回(同期間実施回数)=3,153千円				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	—	—	—					
計	0	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・我が国の主要外交政策について複数の国・地域出身のジャーナリストが自由に討論出来る貴重な場であり、聴衆数も増加傾向。パネリストの外国メディア関係者が日本外交に関する理解を深めるとともに、外国メディア対策の重要性を国内のメディア関係者によりよく認識してもらう上で有益な機会として活用。
	△	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	△	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・会議内容自体は我が国外交に対する外国メディア関係者の理解を促進するものであるが、パネリストとなったジャーナリストが会議の内容を記事にすることは少ない。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	△	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・ジャーナリストがパネリストとなることによって、議論の内容を各国の主要メディアで紹介することがより容易になり、結果として、日本の政策発信と相互理解の促進が図られている。 ・23年度は事業の必要性を精査した結果、要求しないこととした。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
・平成23年度は事業の必要性を精査した結果、要求しないこととしている。			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A. (財)フォーリン・プレスセンター			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	外部委託	(株)インフォメディア・ジャパン他(翻訳等)	1			
	謝礼	パネリスト(8名)	0.8			
	外部委託	日本記者クラブ(室料等)	0.7			
	雑費	招待状発送等郵送料	0.1			
	管理費	管理費等	0.3			
	計		3	計		0
	B. (株)インフォメディア・ジャパン他			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	翻訳料	翻訳料	0.7			
	雑役務費	テープ起こし	0.4			
	計		1	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. (財)フォーリン・プレスセンター

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)フォーリン・プレスセンター	ジャーナリスト会議開催経費(管理費等)	3	2	94.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.(株)インフォメディア・ジャパン他

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)インフォメディア・ジャパン	翻訳, テープ起こし	0.7	随意契約	
2	(株)サイマル・インターナショナル	通訳費	0.3	随意契約	
3	(株)インターナショナルランゲージ アットカルチャーセンター	テープ起こし	0.1	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C. パネリスト(8名)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	ジャーナリスト会議パネリスト	0.2		
2	個人B	ジャーナリスト会議パネリスト	0.1		
3	個人C	ジャーナリスト会議パネリスト	0.1		
4	個人D	ジャーナリスト会議パネリスト	0.1		
5	個人E	ジャーナリスト会議パネリスト	0.1		
6	個人F	ジャーナリスト会議パネリスト	0.1		
7	個人G	ジャーナリスト会議パネリスト	0.1		
8	個人H	ジャーナリスト会議パネリスト	0.1		
9					
10					

D. 日本記者クラブ

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本記者クラブ	室料, 音響機材費等	0.7	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E. 日本郵便

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本郵便	切手代	0.1		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					